

< 2005年秋季 > すまい・まちづくりフォーラム関西21

時空を読むアーバン・デザイン

まちの姿はどのようにして決まってくるのでしょうか。よいまちの景観をデザインするのであれば、そのまちが形成されてきた歴史と、与えられた自然環境や地形が手がかりとなるのはいうまでもありません。しかし、そんな簡単なことではありません。

秋のフォーラムは、「時空を読むアーバンデザイン」と題し、親交のある新進気鋭のお二人を招いての魅力的な企画です。

中川理氏からは、歴史的建造物の町のなかでの意味についてお話をいただきます。明治・大正期のオーソドックスな近代建築から、現在のキッチュな建物まで幅広く論じられて、俗説を論破していつも歯切れがよく、建築単体だけでなく建築の周囲との関係、また都市全体のデザインを読み解いてこられました。

長坂大氏には、自然環境・地形をふまえたデザインのあり方について。若手建築家として、利用の多様性を企図した設計を試みておられます。「漁村集落における屋外空間の研究」(学位論文)を書かれ、屋外空間・地形にもつよく、公園の設計も手がけておられます。

歴史と自然を同時に語らう場、どのような議論になるのか、たいへん楽しみです。専門家はもちろん建築に関わってゆきたい学生の方にとっても参加していただける内容となっています。

会員のみならず学生、市民の方々の多数のご参加をお待ちしています。

■第17回11月19日(土)

午後1時30分～4時30分(受付1時)

コーディネーター

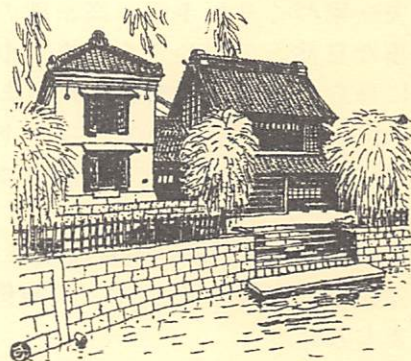
中林 浩(平安女学院大学教授)

歴史が創り出すまち

講師 中川 理(京都工芸繊維大学教授)

地形とまちのかたち

講師 長坂 大(奈良女子大学助教授)



もくじ

秋季17回フォーラム案内	1
春季フォーラムまとめ/ まちなか居住を考える	
竹山清明・栗山立己・古田義弘	2
トピックス/ 生活の時間変化と建築空間の使われ方	
竹下輝和	8
会員だより/ 「縁」	堀田祐三子 11
環境専門の弁護士から/ 建築差止訴訟の現状	
池田直樹・甲斐みなみ	12
西山先生と私/ 学生のころの建築界の動向	
加藤由利子	18

会場 梅田スカイビルウエスト22階
 交通 JR大阪駅中央北口から徒歩10分
 参加費 1000円 文庫会員と学生は500円
 (含資料代)

申込み FAX 0774-73-5701 または
 メールでお知らせください。

*詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.n-bunko.org/>

本プログラムは、建築士会継続能力開発(CPD)の認定プログラムです(予定)。